

【観光情報提供事業】

1. 紙媒体による情報提供

観光情報誌、パンフレット及びマップ類を発行し、観光案内所を中心に配布した。

○『ならり』の発行

季節ごとの観光情報や奈良市観光協会の新たな取組を紹介する情報誌として、令和7年秋冬号（第39号）及び令和8年春夏号（第40号）を発行した。

市内観光案内所のほか、連携する各地の観光案内所、観光関連団体、旅行会社、交通事業者、メディア等へ送付し、配架・配布を依頼した。

また、奈良市観光協会公式ウェブサイト、SNS、誘客キャンペーン特設ホームページ等と連動させ、認知度及び浸透度の向上を図るとともに、目標とする購読層に適切に配布されているかの検証と新たな配布協力先の開拓を継続した。

○『なら^{しおり}葉』の発行

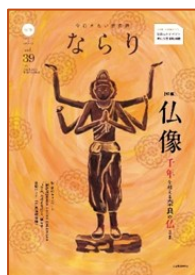
年間を通じた奈良市の総合観光情報誌として発行した。

○『ようこそ奈良へ 観光マップ』『奈良公園ウォーキングマップ』の配布

観光案内所等において需要があるマップ2種（表裏）を日本語と英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語で配布した。

○英語版観光パンフレットの発行

観光案内所等において需要がある『Travel Guide Nara』『Nara Night Map』『Tomio and WESTNARA Ramen Map』を発行した。



「ならり」39号



「ならり」40号



「なら葉」



「Travel guide Nara」



「ようこそ奈良へ 観光マップ」



「Nara Night Map」



「Ramen Map」

2. デジタル媒体による情報提供

日本語・英語を中心に、ウェブサイトやSNS等のデジタル媒体による観光情報の発信を拡充し、その即時性を生かして『ならり』等の紙媒体との相互補完を図った。

○ 奈良市観光協会公式ウェブサイトの運営

令和7年3月に全面リニューアルを完了した奈良市観光協会公式ウェブサイトを、日本語・英語を中心に、繁体字・簡体字・韓国語でも運営した。観光情報を中心に、行事・イベント情報に加え、緊急性・即時性の高い情報も発信した。あわせて、奈良市観光協会が発行する各種発行物、パンフレット、マップ等の紙媒体のダウンロード機能も提供した。

アクセス解析及びSEO対策を継続的に実施するとともに、社寺関連以外のイベント情報や、「特集」「モデルコース」「グルメ」「お土産」等、来訪者の関心が高い情報を積極的に掲載することで情報の多様化を図り、効果的な運用に努めた。なお、スマートフォンによる閲覧が主流（約7割）となっていることを踏まえ、来訪者が旅行中においても容易に情報を取得できる仕様をこころがけた。

奈良市観光協会公式キャラクター「しかまろくん」専用ページ及び教育旅行専用ページも併設し、奈良市観光協会公式ウェブサイトが地域の観光情報発信の中核として機能するよう整備を進めた。

○ 公式フェイスブックの運営

観光情報やイベント情報等をタイムリーに発信した。一部については英語、中国語（繁体字）でも発信した。また、「しかまろくん」フェイスブックも運営した。

○ 公式インスタグラムの運営

主として季節の誘客キャンペーンと連動させ、フォロワー数の拡大に努めた。

- 奈良市観光協会 公式ウェブサイト <https://narashikanko.or.jp/>
- 奈良市観光協会 公式フェイスブック <https://www.facebook.com/narashikanko>
- 奈良市観光協会 公式インスタグラム https://www.instagram.com/naratourism_official/

【誘致受入事業】

1. 観光プロモーション事業（広報宣伝事業）

広告出稿、各種取材対応及びプレスイベント開催等を通じ、積極的な広報宣伝を実施し、情報拡散及び各メディアとの関係構築に努めた。

○ 広告出稿と取材対応

広範な観光情報の発信と、奈良に関する情報の露出拡大を図るため、観光協会の誘客キャンペーン広報を中心に、一般紙、ウェブニュース、旅行誌、カルチャー誌等への広告出稿及び各種取材対応を通じて、メディアとの関係構築を図った。

○ プレスリリースとプレスイベント

奈良市観光協会が展開する誘客キャンペーンを中心に、伝統行事・観光行事に関するプレスリリースをタイムリーに全国配信し、あわせて公式ウェブサイトでも公開した。キャンペーン実施前後にはプレス関係者等を招致し、広報効果の向上を図った。

○ 奈良市域外での広報活動

首都圏及び関西広域圏における広報手段確保のため、大手旅行会社及び鉄道事業者との連携を強化・継続した。また、J R東京駅の民間観光案内所と年間契約し、首都圏での継続した情報発信の拠点とした。



「東京シティアイ」東京駅JPタワー・KITTE内

2. 観光キャンペーン事業（オリジナル企画による誘客事業）

年間を通じて季節ごとに誘客キャンペーンを展開した。新たなファン層の開拓と、従来からの社寺・歴史ファンに対しては、より深い体験を提供し、来訪者の滞在時間延長と宿泊への誘引をめざして取り組んだ。

観光情報誌『ならり』、奈良市観光協会公式ウェブサイト・SNS、主催ツアー『奈良満喫体験』等と連動し、市内各団体、交通事業者及び旅行会社と密接に連携した。また、地元飲食店の参加によるグルメ企画を併催し、社寺・歴史関連以外の情報についても幅広く発信した。

○ 第2回『奈良 Go Round』事業

奈良公園付近以外の特定エリアに焦点を当てて掘り下げるエリアプロモーション第2弾として、「^{きほじ}佐保路」を展開した。9月に特設ホームページを公開し、歴史・文化に限らず、周遊モデルコースの提案や地元のキーパーソンへのインタビュー記事など、比較的認知度の低い地域の魅力や楽しみ方を広く紹介した。



専用ロゴ

令和6年度に実施した「^{たかばたけ}高畑」特設ページも継続して公開し、奈良公園周辺からの観光客分散と市内回遊を促した。

○ 『鹿寄せ』

奈良の朝の風物詩として定着しているイベントを夏季、冬季及び春季に実施した。

夏季：7月6日～8月31日 毎日曜日（計9日間）

冬季：1月10日～2月28日 土日祝日（計16日間）

春季：3月23日～3月28日 毎日（計6日間）



○『新日本三大夜景 奈良若草山トワイライト・夜景観賞バス』

来訪者に若草山からの夕景（トワイライト）及び新日本三大夜景に選定された夜景の鑑賞機会を提供するため、奈良市街と若草山山頂を結ぶ専用バスを夏季及び秋季に運行した。夏季は路線バス車両、秋季は観光バス車両を使用した。



○第6回『秋夜の奈良旅』事業（10月25日～11月29日の毎週土曜）

昼間に集中する観光客の分散及び宿泊誘引に向けた重点施策として、過去5年間にわたり高い評価を得てきた世界遺産社寺の夜間参拝と関連ツアーを実施した。奈良国立博物館の正倉院展会期中の賑わいを同展終了後も持続させるとともに、世界遺産「古都奈良の文化財」の周知に努めた。

アンケートによると、本企画参加者の約6割が奈良市内宿泊を選択した。

- 春日大社「国宝 御本殿夜間特別参拝と万燈籠特別開催」
- 興福寺「国宝 東金堂夜間特別参拝」
- 元興寺「国宝 極楽堂夜間特別参拝と法輪館公開」
- 唐招提寺「国宝 金堂夜間特別参拝」
- 薬師寺「白鳳伽藍 秋夜の特別拝観」



○第4回『路地ぶら ならまち・きたまち 2026』事業（1月5日～2月28日）

「ならまち」「きたまち」所在の5社寺の期間限定特別御朱印授与と、通常は拝観予約等が必要な19寺における案内付き拝観及び御朱印授与企画を実施した。また、『冬のグルメフェア』と連動させ、拝観のみならず地域全体への誘客促進を図り、冬季閑散期における有効な誘客施策として高い評価を得た。アンケートによると、参加者の約3割が市内宿泊を選択した。



○ユネスコ世界文化遺産「古都奈良の文化財」関連事業

奈良が誇る貴重な文化財である世界遺産六社寺のプロモーションを、奈良市全体の観光振興に資する重要な観光資源として重点的に発信した。

- 第6回『秋夜の奈良旅』世界遺産社寺夜間参拝（前記）
- 第3回 世界遺産「古都奈良の文化財」シンポジウム

世界遺産登録記念日（12月2日）前後に、六社寺代表を迎えてのシンポジウムを奈良市内で開催した。第3回となる令和7年度は、12月7日に奈良春日野国際フォーラム「^{いらか}葦」能楽ホールにおいて、「平城京の終焉とその後」をテーマとして

実施した。シンポジウムの模様は地元新聞特設ページで公開され、奈良市観光協会ウェブサイト上でも動画を公開した。



終了後の記念撮影（左より：敬称略）

仲川げん	奈良市長
田邊征夫	元興寺文化財研究所長
鷲尾隆元	東大寺教学執事
辻 明俊	興福寺執事長
今井祐次	春日大社禰宜
辻村泰道	元興寺副住職
松久保伽秀	薬師寺執事長
石田太一	唐招提寺執事長
増尾 朗	奈良市観光協会会長

- 世界遺産「古都奈良の文化財」登録30周年記念事業に向けての活動
2028年の登録30周年に向け、奈良市、奈良文化財研究所、奈良商工会議所等の関係諸団体と連携し準備を進めた。今後、同年に実施予定の奈良市制施行130周年事業との連動も図っていく。

○ 季節のグルメフェアの実施

毎年好評の旬の食材をテーマとした期間限定特別メニューの紹介を、地元飲食店との協力により実施した。

- 夏のグルメフェア：

第4回『夏の奈良の口福 ちゃちゃちゃ大和茶2025』
(7月1日～9月30日)

奈良の特産「大和茶」の認知拡大及び観光消費拡大をテーマに、参加店舗を募集し、大和茶を使用した期間限定メニューを提供する店舗参加型企画を実施した。令和7年度は9店舗が参加し、実施期間を3か月に拡大した。また、英語ページも作成した。



7月15日にはプレスイベントを実施した。

- 秋のグルメフェア：

第3回『NARAD EAT FESTIVAL』
(10月1日～11月30日)

県内4市町村（奈良市、田原本町、明日香村、吉野町）の連携事業として、各自治体の特産食材を用いた期間限定特別メニューを奈良市内の指定レストランにおいて提供した。

9月30日に当該レストランにおいて記者発表を行った。



● 冬のグルメフェア：

第3回『奈良いちごまみれ！』

(1月5日～2月28日)

「奈良のいちご」を使用した期間限定メニューを市内11店舗で展開した。『路地ぶら ならまち・きたまち 2026』(前記)と同時開催とし、広報効果の拡大に努めた。

1月15日に両企画の合同プレスイベントを実施した。



○『春のおでかけキャンペーン』事業(3月)

梅と桜の市内開花情報の発信と、「春の鹿寄せ」を中心として実施した。



3. 海外プロモーション事業

訪日インバウンド観光客の来訪促進及び滞在時間延長を図るため、奈良市、奈良商工会議所等と連携し、誘致活動に取り組んだ。関係団体における当面の重点市場として、オーストラリア及び台湾を想定した。

○ 海外現地での情報発信

台湾及び香港に向けた繁体字フェイスブックを運営した。また、オーストラリア現地航空会社と連携した広報宣伝を実施した。

○ 展示会・商談会への出展

必要に応じて、国内外で開催される観光関係展示会及び商談会に、奈良市観光協会単独又は他団体と共同で出展し、現地事業者や一般旅行者に対して奈良をPRした。

○ コーディネート業務

海外現地の旅行会社、ランドオペレーター及び一般団体等からの問い合わせに対し、必要に応じて奈良来訪時のコーディネートと、関係構築及び情報収集に努めた。



オーストラリア現地航空会社機内誌に出稿



JNTO 主催「Japan Roadshow 2026 Brisbane」(訪日旅行商談会)に出展

○ インバウンド向け観光情報の整備

観光情報誌、パンフレット、マップなどの発行と、奈良市観光協会公式ウェブサイトとSNSを多言語で展開した（前記）。

4. 教育旅行誘致事業

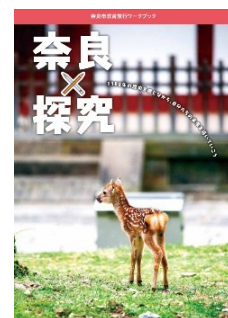
奈良市の観光産業において大きな比重を占めてきた教育旅行の誘致活動を、奈良市、奈良市旅館ホテル組合と連携して実施した。活動対象地域及び対象校の分析を継続し、効果的な活動に努めた。

○ 首都圏での誘致活動

特に首都圏においては、3団体合同での誘致活動と情報収集を繰り返し実施した。

○ 教育旅行資料の整備

『奈良市教育旅行ワークブック』及び、『奈良ならではの歴史&文化&オモシロ体験型教育旅行』を学校関係者及び旅行会社等に紹介した。また、奈良市観光協会公式ウェブサイト内では、ダウンロード機能を提供した。



教育旅行用ワークブック
「奈良×探究」

○ 修学旅行専用ホームページ

奈良市観光協会公式ウェブサイト内に修学旅行専用ページを設け、奈良訪問を検討する教員及び生徒に情報を提供した。

○ 来訪予定校・来訪校へのサービス

奈良市来訪を計画する学校の下見の受入れを行うとともに、来訪校に対しては、宿泊施設において僧侶による出張法話等を提供した。



教育旅行専用ウェブサイトトップページ



教育旅行用ミルククーポン

○ 『デジタル再生古地図』

修学旅行生徒が奈良市内で班別学習時に活用できるツールとして、『デジタル再生古地図』を学校単位で販売した（後記）。

○ 『ミルククーポン』

修学旅行生徒の奈良市内における班別学習時の利便性向上を図るため、市内契約飲食店で使用できる『ミルククーポン』を学校単位で販売した。

【社寺関連・地元行事関連事業】

1. 伝統行事等

「薪御能」「奈良大文字送り火」「采女祭」各行事の保存会事務局として、各行事の円滑な実施に努めるとともに、行事の認知度向上と来訪者誘致に取り組んだ。

行事	日時	実施場所	役割
薪御能	5月16日・17日	春日大社・興福寺	保存会事務局
奈良大文字送り火	8月15日	飛火野・高円山	保存会事務局
采女祭	10月6日	JR 奈良駅～猿沢池	保存会事務局
第12回 珠光茶会	2月7・8・11・14・15日	市内各社寺	実行委員会事務局



薪御能チラシ



奈良大文字送り火チラシ



采女祭チラシ



珠光茶会チラシ

2. その他の主な誘客活動

○『NARA CITYコンシェルジュ』事業

第6代NARA CITYコンシェルジュ（3名）は、各種イベントや行事に参加し奈良市観光のPRに努めるとともに、公式ブログ、X（旧 Twitter）及びInstagram等の運営により知名度の向上に取り組んだ。



第6代
NARA CITY
コンシェルジュ
（左から）
中部 萌さん
湯浅風花さん
田邊華子さん



第7代
NARA CITY
コンシェルジュ
（左から）
吉岡美心さん
松山波奈子さん
椿 莉名さん

また、第7代NARA CITYコンシェルジュ（3名）を一般公募し、選考委員会による公正な審査を経て選出した。

○『しかまろくん』による情報発信事業

奈良市観光協会公式キャラクター「しかまろくん」を活用し、各種イベント・行事への参加、街頭グリーティング、「しかまろくん」Facebook 及びInstagram の運営等を通じて、奈良市観光のPRに努めた。

○ 奈良酒の広報と『奈良しゅわボール』事業

日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録（令和6年12月）されたことを受け、「清酒発祥の地・奈良」の知名度向上と奈良酒の普及促進に向けた取組を継続した。また、民間事業者の協力のもと、奈良酒をソーダ等で割った「奈良しゅわボール」（奈良市観光協会登録商標）の普及に努めた。

○ 姉妹都市連携事業

福島県郡山市、福井県小浜市等、奈良市と姉妹・友好関係にある都市との交流を深めるため、双方の行事への使節団の派遣及び受入れ等を行った。



「しかまろくん」バス車両ラッピング



奈良酒イベント



福島県郡山市うねめ祭に使節団を派遣

○ 主な国内渉外・イベント関係

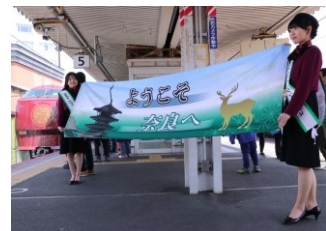
- 大阪関西万博において、ALL NARA MARKET 関西パビリオン多目的エリアへの出展（4月19日～22日）と、EXPO アリーナ「Matsuri」に参加（5月27日）した。
- ツーリズム EXPO ジャパン 2025 に奈良商工会議所、奈良市旅館ホテル組合、奈良市役所と合同で参加した。（9月25日～28日 愛知県国際展示場）
- 第92/93回「近畿6府県観光情報交換会」に参加した。（10月1日、2月4日 東京・都道府県会館）
- 第20回「国内観光活性化フォーラム in なら」に参加した。（2月21日 なら100年会館）
- JR西日本の特急『まほろば』新編成「安寧」「悠久」のデビュー記念イベントに参加した。（4月5日、10月18日 JR大阪駅&奈良駅）



大阪関西万博



ツーリズム EXPO ジャパン 2025



特急『まほろば』デビュー記念

【観光案内事業】

1. 観光案内所運営事業（奈良市受託事業）

○ 奈良市より市内3ヵ所の観光案内所の運営を受託した。

奈良市の運営方針に基づき、自動案内も併用しながら観光案内機能の充実に努めた。インバウンド来訪者の更なる増加が見込まれる中、旅行前の情報のみでは補完しきれない最新情報を提供する拠点として、効率的かつ的確な運営を行った。

● 奈良市総合観光案内所（JR 奈良駅前）

● 近鉄奈良駅総合観光案内所（近鉄奈良駅上）

奈良県、奈良市、奈良県ビジターズビューロー、近畿日本鉄道(株)と協議会を組織して運営した。

● 奈良市観光センター「NARANICLE（ナラニクル）」（奈良市中部公民館内）

2. 多言語チャットボットサービスの提供

奈良市観光協会公式ウェブサイト及び観光案内システム上で観光案内チャットボットサービスを多言語で提供し、来訪者がモバイル端末から観光情報を円滑に取得できる環境を整備した。

3. アイドリングストップ乗務員休憩所の運営（奈良市受託事業）

春日大社、薬師寺及び唐招提寺の駐車場において観光バス乗務員休憩所を運営し、乗務員休憩中のアイドリングストップを推奨した。

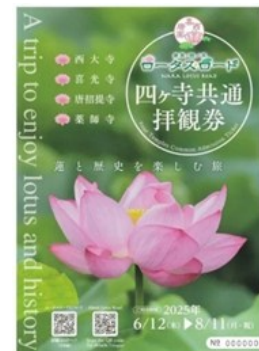
【販売事業】

奈良市観光協会の主な自主収益事業

1. 第12回『奈良・西ノ京ロータスロード』

（6月12日～8月11日）

仏教において重要な意味を有する「蓮」をテーマに、大和西大寺駅から奈良市西ノ京地区にかけて点在する4ヶ寺（西大寺・喜光寺・唐招提寺・薬師寺）を巡る共通拝観券の発行と、各寺における付帯企画を実施した。



夏季における主要な誘客企画の一つとして、蓮の開花特性を生かした早朝企画により前泊への誘引を図るとともに、奈良公園周辺に集中しがちな来訪者の市内回遊を目指した。昨年に引き続き、オンライン拝観券を導入し、販売の効率化及びファン層の拡大強化、インバウンド観光客への販売も継続した。

2. 春日若宮おん祭特別棧敷席運営（12月17日）

第890回 春日若宮おん祭において、お渡り式をゆっくり座って観賞できる特別棧敷席を設置し運営した。

3.『奈良満喫体験』 ツアーの企画・販売

奈良市観光協会が主催するオリジナルツアーブランドとして、『奈良満喫体験』を展開した。一般の旅行会社にはない特色ある内容を主眼とし、奈良ならではの社寺関連企画に加え、奈良の多様性と独自性を打ち出した、市全域を対象とする企画を盛り込んだ。

従来からの奈良ファンに対しては、より深い体験を提供するとともに、新たなファン層の獲得を図り、滞在時間延長の契機となる企画とした。

奈良市観光体験予約サイト「NARAタイム」において予約受付と管理を行った。



4.『デジタル再生古地図』事業

「ならまち」「きたまち」のデジタル再生古地図と、再生古地図を活用したツアー企画等を、来訪者や修学旅行関係者に販売し、街歩きの提案を行った（前記）。



5. 新観光ブランド『稀覯 ki-kou』の企画・販売

『奈良満喫体験』をさらに一步進め、1300年前から奈良が受け継いできた奥深い価値を来訪者に五感で体験していただくことを目的とした新企画『稀覯 ki-kou』を造成・発表した。完全オーダーメイドの企画として、令和8年度より販売を開始する。



6. 手荷物預かり事業

奈良市総合観光案内所において、来訪者の手荷物預かりを実施した。

7. 物品販売

各案内所において、「しかまろくん」グッズ、バスチケット等を販売した。

8. 「しかまろくん」キャラクターライセンス収入

「しかまろくん」グッズの商品展開に当たっては、制作業者からライセンス収入を得た。デザイン使用及びライセンス管理については、適正かつ厳正に行った。

【その他の事業】

関係団体等との共催・共同事業、他団体への後援事業並びに観光協会の会員向け事業

1. 社寺行事への支援と協力

市内各社寺が実施する行事への支援及び広報協力を実施した。

(例)「春日大とんど」春日大社共催 1月24日実施



「春日の大とんど」

2. 『なら SLOW & LOOP』事業

広域連携事業として、JR 西日本の万葉まほろば線、和歌山線及び大和路線が走る奈良県北部を一周する形で、時間をかけた周遊観光を推奨する『なら SLOW & LOOP』協議会に参加した。観光客の奈良市を起点とする県内回遊による滞在時間延長を図るため、奈良商工会議所、JR 西日本及び沿線自治体・観光団体等と協力した。



3. 「おもてなし民間トイレ」

観光地区に所在する店舗等のトイレを来訪者が利用できるよう、民間の協力を得て、来訪者の市内回遊時における利便性向上を図った。

4. 全国高等学校ラグビーフットボール大会への協力

大会出場校の奈良市滞在中における練習会場確保及び練習日程の調整を行った。

5. 関係他団体

奈良マラソン実行委員会、東海自然歩道連絡協会、奈良の鹿愛護会等、各団体の委員又は理事として広く奈良市観光の発展に努めた。

6. 宿泊データの収集と公開

奈良市内宿泊施設の協力を得て、毎月の訪問客の宿泊状況を調査し公開した。

7. メールマガジンの配信

奈良市観光協会会員に対し毎月メールマガジンを配信し、観光協会の取組や観光産業に関する話題等を紹介することで、協会に対する会員の理解促進に努めた。

8. 他団体連携会議

観光先進地域の事例研究や他団体との連携を通じて観光に関する知見を深め、将来の奈良観光の発展を見据えた提言を行った。また、情報発信やプロモーションに加え、総合的な観光マーケティングの強化を目的として、奈良市、奈良商工会議所等との定例会議を継続した。

以上

貸 借 対 照 表

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	129,332,129	115,054,396	14,277,733
現金	100,000	100,000	
小口現金	200,000	210,000	-10,000
普通預金	121,628,763	108,246,480	13,382,283
郵便貯金	7,403,366	6,497,916	905,450
棚卸資産	382,800		382,800
未収金	13,090,007	9,045,524	4,044,483
前払金	1,361,774	1,246,854	114,920
仮払金	32,450		32,450
立替金	423,291	140,293	282,998
流動資産合計	144,622,451	125,487,067	19,135,384
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	49,766	49,766	
基本財産合計	49,766	49,766	
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	3,000,000	3,000,000	
観光振興積立基金	2,008,370	2,007,744	626
公益充実資金	7,000,000		7,000,000
特定資産合計	12,008,370	5,007,744	7,000,626
(3) その他固定資産			
什器備品	5	5	
ソフトウェア	17,076,667	21,436,667	-4,360,000
電話加入権	145,600	145,600	
保証金	1,000,000	1,000,000	
その他固定資産合計	18,222,272	22,582,272	-4,360,000
固定資産合計	30,280,408	27,639,782	2,640,626
資産の部合計	174,902,859	153,126,849	21,776,010
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	80,811,344	62,799,706	18,011,638
前受金	12,000	12,000	
預り金	3,922,606	6,196,528	-2,273,922
流動負債合計	84,745,950	69,008,234	15,737,716
2 固定負債			
負債の部合計	84,745,950	69,008,234	15,737,716
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	
受贈土地	49,766	49,766	
受取利息	8,370	7,744	626
指定正味財産合計	2,058,136	2,057,510	626
(うち基本財産への充当額)	(49,766)	(49,766)	()
(うち特定資産への充当額)	(2,008,370)	(2,007,744)	(626)
2 一般正味財産	88,098,773	82,061,105	6,037,668
(うち特定資産への充当額)	(10,000,000)	(3,000,000)	(7,000,000)
正味財産の部合計	90,156,909	84,118,615	6,038,294
負債及び正味財産合計	174,902,859	153,126,849	21,776,010

貸借対照表内訳表

令和 8年 3月31日現在

決算用
(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	-200,821,640	108,631,231		221,522,538		129,332,129
現金	100,000					100,000
小口現金		200,000				200,000
普通預金	-202,275,600	108,065,761		215,838,602		121,628,763
南都銀行本店		765,800		6,138		771,938
南都銀行本店 A G T	20,000	2,468,868		6,767,744		9,256,612
南都銀行市役所出張所	-202,295,600	58,196,939		207,361,093		63,262,432
三井住友銀行奈良支店		15,657,260		90,424		15,747,684
南都銀行市役所出張所 (総案)		16,581,734		21,887		16,603,621
南都銀行市役所出張所 (近鉄)		14,395,160		18,451		14,413,611
南都銀行市役所出張所 (会費)				1,572,865		1,572,865
郵便貯金	1,353,960	365,470		5,683,936		7,403,366
棚卸資産		382,800				382,800
未収金	7,864,496	5,212,711		12,800		13,090,007
前払金	250,000	51,604	300,000	760,170		1,361,774
仮払金	32,450					32,450
立替金	22,673	173,712		226,906		423,291
他会計立替金	437,945,619	17,780,912	9,316,800	270,179,243	-735,222,574	
流動資産合計	245,293,598	132,232,970	9,616,800	492,701,657	-735,222,574	144,622,451
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	49,766					49,766
基本財産合計	49,766					49,766
(2) 特定資産						
減価償却引当資産				3,000,000		3,000,000
観光振興積立基金				2,008,370		2,008,370
公益充実資金	7,000,000					7,000,000
特定資産合計	7,000,000			5,008,370		12,008,370
(3) その他固定資産						
什器備品	4			1		5
ソフトウェア	17,076,667					17,076,667
電話加入権	131,040			14,560		145,600
保証金				1,000,000		1,000,000
その他固定資産合計	17,207,711			1,014,561		18,222,272
固定資産合計	24,257,477			6,022,931		30,280,408
資産の部合計	269,551,075	132,232,970	9,616,800	498,724,588	-735,222,574	174,902,859
II 負債の部						
1 流動負債						
未払金	73,439,305	2,668,667	261,709	4,441,663		80,811,344
前受金				12,000		12,000
預り金	1,277,623	1,907,451		737,532		3,922,606
他会計未払金	209,455,453	42,214,811	8,705,226	474,847,084	-735,222,574	
流動負債合計	284,172,381	46,790,929	8,966,935	480,038,279	-735,222,574	84,745,950
2 固定負債						
負債の部合計	284,172,381	46,790,929	8,966,935	480,038,279	-735,222,574	84,745,950
III 正味財産の部						
1 指定正味財産						
寄付金				2,000,000		2,000,000
受贈土地	49,766					49,766
受取利息				8,370		8,370
指定正味財産合計	49,766			2,008,370		2,058,136
(うち基本財産への充当額)	(49,766)	()	()	()	()	(49,766)
(うち特定資産への充当額)	()	()	()	(2,008,370)	()	(2,008,370)
2 一般正味財産	-14,671,072	85,442,041	649,865	16,677,939		88,098,773
(うち特定資産への充当額)	(7,000,000)	()	()	(3,000,000)	()	(10,000,000)
正味財産の部合計	-14,621,306	85,442,041	649,865	18,686,309		90,156,909
負債及び正味財産合計	269,551,075	132,232,970	9,616,800	498,724,588	-735,222,574	174,902,859

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	9,306,000	9,102,000	204,000
事業収益			
販売事業収益	5,034,287	6,231,765	-1,197,478
特別観覧席収益	5,407,900	5,212,700	195,200
手荷物預かり事業収益	7,676,014	7,807,600	-131,586
観光情報提供事業収益	1,556,500	1,431,000	125,500
ロイヤリティ事業収益	11,861,882	16,284,138	-4,422,256
旅行事業収益	3,972,082	4,163,270	-191,188
カフェ運営協力収益	2,444,448	2,444,448	
NARANICLE運営事業収益	1,511,930	1,511,930	
受取補助金等			
受取国庫補助金		17,883,163	-17,883,163
受取奈良市補助金	211,783,885	212,349,270	-565,385
受取奈良市受託料	88,849,111	83,975,359	4,873,752
受取負担金			
受取民間負担金	498,000	7,493,877	-6,995,877
雑収益			
受取利息	276,038	79,066	196,972
雑収益	629,752	174,843	454,909
経常収益計	350,807,829	376,144,429	-25,336,600
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	8,880,300	8,082,000	798,300
給料手当	118,849,169	108,801,641	10,047,528
福利厚生費	22,972,765	22,138,489	834,276
研修費		1,900	-1,900
旅費交通費	5,745,848	5,024,510	721,338
通信運搬費	1,774,149	1,689,440	84,709
会議費	51,866	64,201	-12,335
交際費	541,546	463,476	78,070
減価償却費	4,360,000	363,334	3,996,666
消耗品費	1,604,454	1,311,704	292,750
修繕費	872,589	506,796	365,793
印刷製本費	3,816,072	4,628,034	-811,962
燃料費	122,833	113,533	9,300
光熱水料費	10,064,482	10,135,768	-71,286
賃借料	10,921,753	10,174,154	747,599
保険料	480,278	536,930	-56,652
諸謝金	5,462,191	6,122,123	-659,932
租税公課	7,503,400	6,793,300	710,100
支払負担金	846,320	542,500	303,820
諸会費	112,000	112,000	
支払補助金	25,445,813	23,582,036	1,863,777
支払寄付金	65,000	65,000	
委託費	83,928,077	104,070,597	-20,142,520
支払手数料	217,134	175,887	41,247
広報宣伝費	10,182,479	8,121,508	2,060,971
雑費	1,584,952	1,695,134	-110,182

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
役員報酬	1,019,700	918,000	101,700
給料手当	9,413,345	14,284,575	-4,871,230
福利厚生費	1,919,658	2,865,345	-945,687
研修費	293,860	167,425	126,435
会議費	693,106	755,506	-62,400
交際費	39,270	91,872	-52,602
旅費交通費	359,893	424,751	-64,858
通信運搬費	406,440	344,763	61,677
消耗品費	109,321	353,069	-243,748
修繕費	39,047	5,914	33,133
印刷製本費	55,997	78,138	-22,141
燃料費	13,800	13,178	622
光熱水料費	28,598	27,640	958
賃借料	965,541	883,705	81,836
保険料	104,146	113,008	-8,862
租税公課	590,000	308,400	281,600
諸会費	233,000	228,000	5,000
支払手数料	609,933	280,750	329,183
委託費	1,470,036	1,393,073	76,963
經常費用計	344,770,161	348,853,107	-4,082,946
評価損益等調整前当期經常増減額	6,037,668	27,291,322	-21,253,654
評価損益等計			
当期經常増減額	6,037,668	27,291,322	-21,253,654
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計			
(2) 經常外費用			
經常外費用計			
当期經常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	6,037,668	27,291,322	-21,253,654
当期一般正味財産増減額	6,037,668	27,291,322	-21,253,654
一般正味財産期首残高	82,061,105	54,769,783	27,291,322
一般正味財産期末残高	88,098,773	82,061,105	6,037,668
II 指定正味財産増減の部			
特定資産受取利息			
特定資産受取利息	626	5	621
当期指定正味財産増減額	626	5	621
指定正味財産期首残高	2,057,510	2,057,505	5
指定正味財産期末残高	2,058,136	2,057,510	626
III 正味財産期末残高	90,156,909	84,118,615	6,038,294

正味財産増減計算書内訳表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

決算報告用
(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費	4,653,000		930,600	3,722,400		9,306,000
正会員受取会費	4,653,000		930,600	3,722,400		9,306,000
事業収益	1,549,450	37,915,593				39,465,043
販売事業収益	9,450	5,024,837				5,034,287
特別観覧席収益		5,407,900				5,407,900
手荷物預かり事業収益		7,676,014				7,676,014
観光情報提供事業収益	1,540,000	16,500				1,556,500
ロイヤリティ事業収益		11,861,882				11,861,882
旅行事業収益		3,972,082				3,972,082
カフェ運営協力収益		2,444,448				2,444,448
NARANICLE運営事業収益		1,511,930				1,511,930
受取補助金等	274,597,143	9,504,069	3,609,631	12,922,153		300,632,996
受取奈良市補助金	185,748,032	9,504,069	3,609,631	12,922,153		211,783,885
受取奈良市受託料	88,849,111					88,849,111
受取負担金	150,000		200,000	148,000		498,000
受取民間負担金	150,000		200,000	148,000		498,000
雑収益		176,775		729,015		905,790
受取利息				276,038		276,038
雑収益		176,775		452,977		629,752
経常収益計	280,949,593	47,596,437	4,740,231	17,521,568		350,807,829
(2) 経常費用						
事業費	296,423,762	25,423,052	4,558,656			326,405,470
役員報酬	8,137,800	326,700	415,800			8,880,300
給料手当	109,901,830	7,269,713	1,677,626			118,849,169
福利厚生費	21,148,140	1,482,508	342,117			22,972,765
旅費交通費	4,827,100	770,546	148,202			5,745,848
通信運搬費	1,556,001	209,031	9,117			1,774,149
会議費	51,866					51,866
交際費	531,546		10,000			541,546
減価償却費	4,360,000					4,360,000
消耗品費	1,377,176	205,861	21,417			1,604,454
修繕費	835,475	30,155	6,959			872,589
印刷製本費	2,834,203	971,890	9,979			3,816,072
燃料費	109,717	10,657	2,459			122,833
光熱水料費	8,543,519	1,515,866	5,097			10,064,482
賃借料	8,794,109	1,955,568	172,076			10,921,753
保険料	306,473	169,359	4,446			480,278
諸謝金	3,918,131	1,488,060	56,000			5,462,191
租税公課	4,836,600	2,666,800				7,503,400
支払負担金	747,820		98,500			846,320
諸会費			112,000			112,000
支払補助金	25,445,813					25,445,813
支払寄付金			65,000			65,000
委託費	77,827,685	6,053,833	46,559			83,928,077
支払手数料	134,179	82,955				217,134
広報宣伝費	10,182,479					10,182,479
雑費	16,100	213,550	1,355,302			1,584,952
管理費				18,364,691		18,364,691
役員報酬				1,019,700		1,019,700
給料手当				9,413,345		9,413,345
福利厚生費				1,919,658		1,919,658
研修費				293,860		293,860
会議費				693,106		693,106
交際費				39,270		39,270
旅費交通費				359,893		359,893
通信運搬費				406,440		406,440
消耗品費				109,321		109,321
修繕費				39,047		39,047
印刷製本費				55,997		55,997
燃料費				13,800		13,800
光熱水料費				28,598		28,598
賃借料				965,541		965,541
保険料				104,146		104,146
租税公課				590,000		590,000
諸会費				233,000		233,000
支払手数料				609,933		609,933
委託費				1,470,036		1,470,036
経常費用計	296,423,762	25,423,052	4,558,656	18,364,691		344,770,161
評価損益等調整前当期経常増減額	-15,474,169	22,173,385	181,575	-843,123		6,037,668
評価損益等計						
当期経常増減額	-15,474,169	22,173,385	181,575	-843,123		6,037,668
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計						
(2) 経常外費用						

正味財産増減計算書内訳表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

決算報告用
(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
経常外費用計						
当期経常外増減額						
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-15,474,169	22,173,385	181,575	-843,123		6,037,668
他会計振替額	10,371,499	-10,371,499				
他会計振替額	10,371,499	-10,371,499				
税引前当期一般正味財産増減額	-5,102,670	11,801,886	181,575	-843,123		6,037,668
当期一般正味財産増減額	-5,102,670	11,801,886	181,575	-843,123		6,037,668
一般正味財産期首残高	-9,568,402	73,640,155	468,290	17,521,062		82,061,105
一般正味財産期末残高	-14,671,072	85,442,041	649,865	16,677,939		88,098,773
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
特定資産受取利息				626		626
特定資産受取利息				626		626
当期指定正味財産増減額				626		626
指定正味財産期首残高	49,766			2,007,744		2,057,510
指定正味財産期末残高	49,766			2,008,370		2,058,136
Ⅲ 正味財産期末残高	-14,621,306	85,442,041	649,865	18,686,309		90,156,909

財 産 目 録

令和 8年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金			129,332,129
	現金			100,000
	小口現金			200,000
	普通預金			121,628,763
	南都銀行本店	南都銀行本店営業部	運転資金として	771,938
	南都銀行本店A G T	南都銀行本店営業部	運転資金として	9,256,612
	南都銀行市役所出張所	南都銀行市役所出張所	運転資金として	63,262,432
	三井住友銀行奈良支店	三井住友銀行奈良支店	運転資金として	15,747,684
	南都銀行市役所出張所 (総案)	南都銀行市役所出張所	運転資金として	16,603,621
	南都銀行市役所出張所 (近鉄)	南都銀行市役所出張所	運転資金として	14,413,611
	南都銀行市役所出張所 (会費)	南都銀行市役所出張所	口座引落による会費の受取口座として	1,572,865
	郵便貯金		会費等の受取口座として	7,403,366
	棚卸資産	しかまろスタンプ帳	販売事業用 (期末在庫3,000冊)	382,800
	未収金			13,090,007
	前払金			1,361,774
	仮払金			32,450
	立替金			423,291
流動資産合計				144,622,451
(固定資産)				
基本財産				
	土地	高円山大文字土地	公益目的保有財産	49,766
特定資産				
	減価償却引当資産	南都銀行本店営業部	運用益を管理費の財源として使用	3,000,000
	観光振興積立基金	南都銀行本店営業部	運用益を管理費の財源として使用	2,008,370
	公益充実資金	南都銀行市役所出張所	公益目的事業に係る資産 (世界遺産周年事業・Webリニューアル事業用)	7,000,000
その他固定資産				
	什器備品	しかまろ着ぐるみ等 タイムレコーダー 協会公式Webサイト	公益目的保有財産 (帳簿価額 4円) 管理目的保有財産 (帳簿価額 1円) 公益目的保有財産 (帳簿価額 17,076,667円) (共用財産) うち公益目的保有財産90% うち管理目的保有財産10%	5 17,076,667 145,600
	ソフトウェア			
	電話加入権			
	保証金	旅行業営業保証供託金	管理目的保有財産	1,000,000
固定資産合計				30,280,408
資産合計				174,902,859
(流動負債)				
	未払金			80,811,344
	前受金			12,000
	預り金		源泉所得税など	3,922,606
流動負債合計				84,745,950
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				84,745,950
正味財産				90,156,909

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (2) 有形固定資産の減価償却の方法
定率法である。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地（高円山大文字土地）	49,766	0	0	49,766
小 計	49,766	0	0	49,766
特定資産				
観光振興積立基金	2,007,744	626	0	2,008,370
減価償却引当資産	3,000,000	0	0	3,000,000
公益充実資金	0	7,000,000	0	7,000,000
小 計	5,007,744	7,000,626	0	12,008,370
合 計	5,057,510	7,000,626	0	12,058,136

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地（高円山大文字土地）	49,766	(49,766)	(0)	(0)
小 計	49,766	(49,766)	(0)	(0)
特定資産				
観光振興積立基金	2,008,370	(2,008,370)	(0)	(0)
減価償却引当資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
公益充実資金	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
小 計	12,008,370	(2,008,370)	(10,000,000)	(0)
合 計	12,058,136	(2,058,136)	(10,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
什器備品	2,777,914	2,777,909	5
ソフトウェア	23,623,040	6,546,373	17,076,667
電話加入権	145,600	0	145,600
合 計	26,546,554	9,324,282	17,222,272

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
奈良市観光協会補助金	奈良市	0	211,783,885	211,783,885	0	—
合 計		0	211,783,885	211,783,885	0	

—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載しているため、省略している。

監 査 報 告 書

令和7年度公益社団法人奈良市観光協会の事業報告書・計算書類、これらの附属明細書
その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿・会計書類・重要な決裁文書及び報告書
を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、ま
た、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示して
います。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は
ありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の
内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において
適正に表示しています。

以上

令和8年5月20日

監 事 伊 藤 隆 司 (印影省略)

※原本に押印あり

公益社団法人奈良市観光協会
会 長 増 尾 朗 様